



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 河野 和晃

TEL 03-5338-8238

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,852	△11.0	952	△34.5	1,322	△25.9	2,661	110.8
2020年3月期第3四半期	60,488	△6.0	1,453	2.5	1,784	△5.1	1,262	335.3

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 2,611百万円 (273.1%) 2020年3月期第3四半期 699百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	169.40	—
2020年3月期第3四半期	80.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	74,424	43,335	58.2	2,758.64
2020年3月期	72,255	41,353	57.2	2,632.34

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 43,335百万円 2020年3月期 41,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当10円00銭

詳細につきましては、本日(2021年2月8日)公表の「配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	△9.0	1,150	△28.2	1,500	△26.8	2,800	47.7	178.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	15,862,714 株	2020年3月期	15,862,714 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	153,848 株	2020年3月期	152,980 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	15,709,549 株	2020年3月期3Q	15,762,161 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、一部の地域で回復が見られたものの、欧米で新型コロナウイルス感染症の再拡大が見られるなど、全体としては、企業業績や雇用・所得環境の改善が停滞し、厳しい状況が続きました。

日本経済も、経済活動の再開による回復が見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により回復ペースが鈍化し、先行き不透明な状況となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には感染症対策製品、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 53,852 百万円(前年同四半期比 11.0%減)、営業利益 952 百万円(前年同四半期比 34.5%減)、経常利益 1,322 百万円(前年同四半期比 25.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,661 百万円(前年同四半期比 110.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

シューズは、独自に開発した新素材のACROFOAM（アクロフォーム）を搭載したスポーツシューズ「HYPER JUMPER（ハイパージャンパー）」が様々なメディアで紹介され、話題となりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により、ECサイトやテレビ通販による売上は堅調に推移しましたが、百貨店や大型商業施設の臨時休業や営業時間短縮による前半での苦戦が影響し、主力である衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」や、ジュニアスポーツシューズの「瞬足」は、前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 7,261 百万円(前年同四半期比 18.1%減)、セグメント損失(営業損失)は 964 百万円(前年同四半期はセグメント損失 629 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輦内装用資材は、自動車産業の復調とともに回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大による自動車メーカーの生産停止および減産等の影響による前半の大幅な落ち込みを取り戻すまでに至らず、国内外ともに前年売上を大きく下回りました。

フィルムは、飛沫感染対策用透明防災フィルムや抗ウイルス・抗菌性フィルム「アキレスウイルセーフ」の堅調に加え、欧州・豪州を中心とした窓用フィルムの販売が引き続き好調に推移、さらに北米で医療用・印刷用フィルムの販売が伸長し、前年売上を上回りました。

建装資材は、新型コロナウイルス感染拡大による需要減少の影響を受け、前年売上を下回りました。

引布商品は、感染症対策エアータント・米国向けゴムボートの販売が伸長し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 24,979 百万円(前年同四半期比 11.9%減)、セグメント利益(営業利益)は 2,030 百万円(前年同四半期比 11.7%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、主力の車輛用、寝具用ともに回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続し、前年売上を下回りました。

断熱資材は、住宅向けは前年並みに推移しましたが、システム製品は新型コロナウイルス感染拡大に伴う建築工事の遅延および延期の影響を受け、前年売上を下回りました。

工業資材は、海外ユーザーを中心とした半導体分野向け搬送用部材の販売が拡大し、国内では医療機器向けRIM成形品の伸長により、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第3四半期連結累計期間の業績は売上高21,611百万円(前年同四半期比7.1%減)、セグメント利益(営業利益)は1,611百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は74,424百万円で前連結会計年度末に比較して2,168百万円増加しました。

資産の部では、流動資産は44,237百万円となり前連結会計年度末に比較して1,246百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が431百万円減少しましたが、電子記録債権が952百万円、現金及び預金が458百万円、原材料及び貯蔵品が260百万円増加したことによります。固定資産は30,186百万円となり前連結会計年度末に比較して921百万円増加しました。これは主に、機械装置及び運搬具が379百万円、繰延税金資産が336百万円、退職給付に係る資産が215百万円減少しましたが、建設仮勘定が1,063百万円、その他有形固定資産が725百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は25,884百万円となり前連結会計年度末に比較して231百万円増加しました。これは主に、未払金が338百万円、支払手形及び買掛金が217百万円減少しましたが、短期借入金が578百万円、その他流動負債が278百万円増加したことによります。固定負債は5,204百万円となり前連結会計年度末に比較して45百万円減少しました。これは主に、その他固定負債が57百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が101百万円減少したことによります。

純資産の部は43,335百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,981百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が87百万円減少しましたが、利益剰余金が2,032百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は58.2%となり前連結会計年度末に比べ1.0%好転しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,012	7,470
受取手形及び売掛金	18,786	18,354
電子記録債権	3,279	4,231
商品及び製品	9,044	8,954
仕掛品	1,642	1,816
原材料及び貯蔵品	2,042	2,302
その他	1,201	1,119
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	42,991	44,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,731	8,699
機械装置及び運搬具（純額）	5,887	5,508
土地	4,178	4,176
建設仮勘定	908	1,972
その他（純額）	652	1,378
有形固定資産合計	20,359	21,734
無形固定資産	331	246
投資その他の資産		
投資有価証券	3,168	3,343
退職給付に係る資産	2,114	1,899
繰延税金資産	2,446	2,109
その他	906	915
貸倒引当金	△62	△63
投資その他の資産合計	8,573	8,204
固定資産合計	29,264	30,186
資産合計	72,255	74,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,066	10,848
電子記録債務	2,892	2,784
短期借入金	2,221	2,800
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	2,003	1,665
未払法人税等	309	347
その他	4,160	4,438
流動負債合計	25,652	25,884
固定負債		
繰延税金負債	361	360
退職給付に係る負債	4,435	4,334
資産除去債務	392	393
P C B廃棄物処理引当金	41	40
その他	18	75
固定負債合計	5,249	5,204
負債合計	30,902	31,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	4,838	4,838
利益剰余金	21,622	23,655
自己株式	△309	△310
株主資本合計	40,792	42,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	614
繰延ヘッジ損益	54	△6
為替換算調整勘定	△161	△249
退職給付に係る調整累計額	213	152
その他の包括利益累計額合計	561	511
純資産合計	41,353	43,335
負債純資産合計	72,255	74,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	60,488	53,852
売上原価	47,715	42,219
売上総利益	12,772	11,632
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,362	4,128
広告宣伝費及び販売促進費	689	596
貸倒引当金繰入額	△8	△2
給料手当及び福利費	4,102	4,032
退職給付費用	84	128
旅費交通費及び通信費	443	228
減価償却費	98	104
その他	1,547	1,463
販売費及び一般管理費合計	11,319	10,680
営業利益	1,453	952
営業外収益		
受取利息	12	15
受取配当金	56	47
持分法による投資利益	155	132
不動産賃貸料	62	69
その他	133	217
営業外収益合計	420	482
営業外費用		
支払利息	29	25
為替差損	7	8
支払補償費	20	51
その他	31	26
営業外費用合計	89	112
経常利益	1,784	1,322
特別利益		
固定資産売却益	37	18
投資有価証券売却益	12	—
関係会社株式売却益	—	2,181
保険差益	5	0
特別利益合計	55	2,200
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	67	89
特別損失合計	67	89
税金等調整前四半期純利益	1,771	3,432
法人税、住民税及び事業税	240	485
法人税等調整額	268	286
法人税等合計	508	771
四半期純利益	1,262	2,661
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,262	2,661

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,262	2,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	159
繰延ヘッジ損益	△36	△61
為替換算調整勘定	△338	△66
退職給付に係る調整額	△160	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△21
その他の包括利益合計	△562	△49
四半期包括利益	699	2,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	699	2,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報において、「2021年3月期の上半期程度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響により不安定な状況が続き、下半期以降から緩やかに回復する」と仮定しておりました。

しかしながら、日本国内の新型コロナウイルス感染症の再拡大をうけ、2021年1月に緊急事態宣言が再発出され、感染拡大の収束時期が依然として見通せない状況になったことを踏まえて、「今後も新型コロナウイルス感染症の影響が当面継続する」と仮定を見直した上で、繰延税金資産の回収可能性を検討し、計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,861	28,366	23,261	60,488	—	60,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100	456	556	△556	—
計	8,861	28,466	23,717	61,045	△556	60,488
セグメント利益又は 損失(△)	△629	2,300	1,674	3,345	△1,892	1,453

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,892百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	7,261	24,979	21,611	53,852	—	53,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	70	390	460	△460	—
計	7,261	25,050	22,001	54,313	△460	53,852
セグメント利益又は 損失(△)	△964	2,030	1,611	2,678	△1,726	952

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（一般管理費）であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。